



2019年度第1四半期決算の概要

(2019年4月1日～2019年6月30日)

ご説明資料



“特殊”だけど“身近”な「特殊鋼」



山陽特殊製鋼株式会社



<http://www.sanyo-steel.co.jp>

目次

1. 2019年度第1四半期決算の概況

損益の概要

純利益(構造ベース)について

業績推移(四半期)

営業利益の変化要因

(2018FY1Q→2019FY1Q、2018FY4Q→2019FY1Q)

セグメント別損益

貸借対照表

(参考)設備投資・減価償却費の推移

2. 2019年度業績予想等

2019FY業績予想の修正について

Ovako業績

MSSS業績

2019FY配当予想の修正について

EPS・DPS

営業利益の変化要因

(2018FY実績→2019FY今回予想)

3. 参考資料

財務指標の推移

その他のトピックス

損益の概要

(単位:億円)

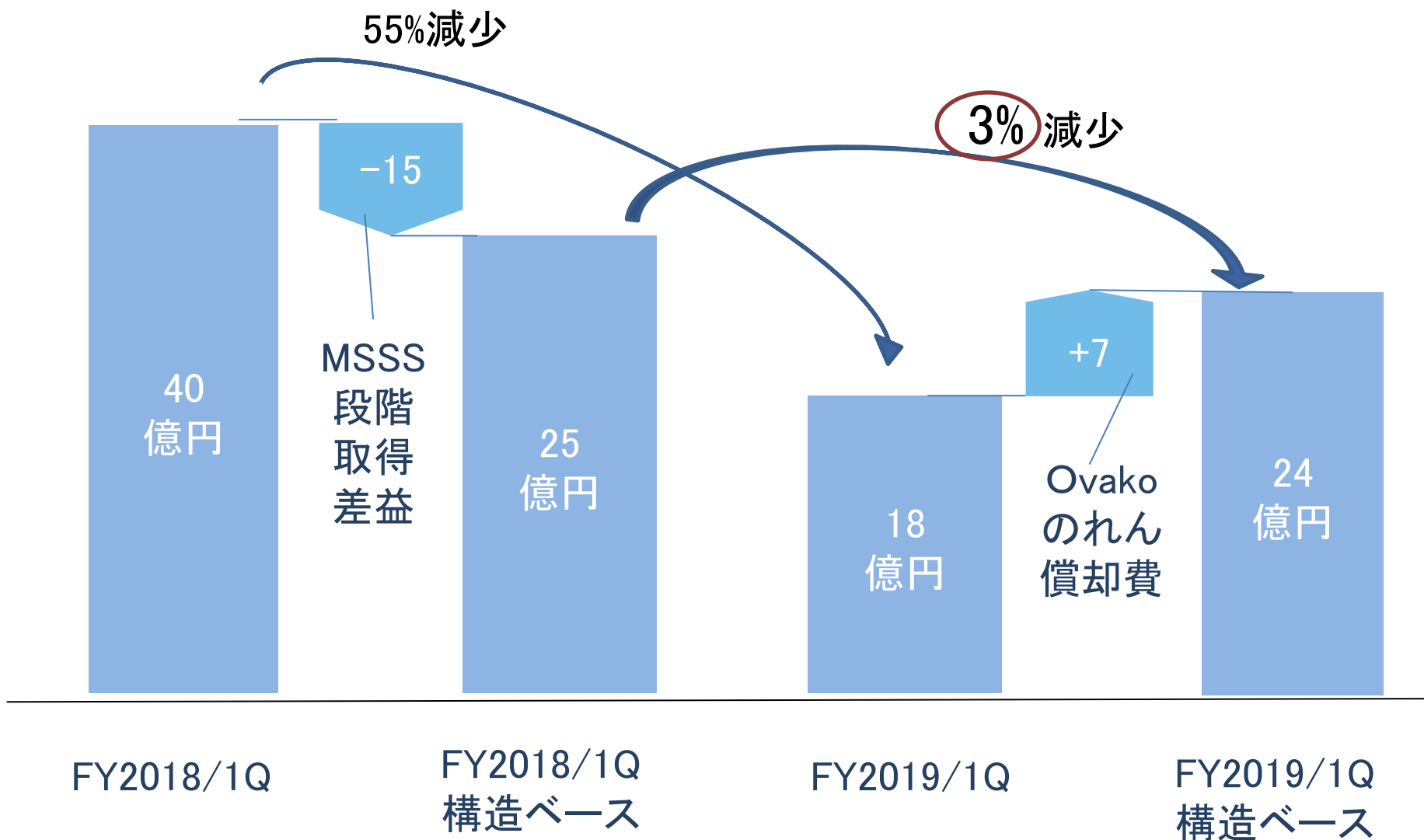
	2019FY/1Q (A)		2018FY/1Q (B)		対前年同期 (A)-(B)	
	金額	売上高 比率(%)	金額	売上高 比率(%)	金額	増減率 (%)
売上高	772	100.0	439	100.0	+333	+75.9
営業利益	25	ROS 3.2	37	ROS 8.4	-12	-33.4
内、当社単体	23	-	35	-	-13	-35.7
内、Ovako (注1)	12	-	-	-	+12	-
内、MSSS (注1)	▲2	-	-	-	-2	-
内、Ovakoのれん償却費	▲7	-	-	-	-7	-
経常利益	23	3.0	39	8.8	-16	-40.7
純利益(注2)	18	2.3	40	9.1	-22	-55.1
純利益(構造ベース)(注3)	24	3.2	25	5.8	-1	-3.2
売上数量(千t)	479	160 /月	281	94 /月	+198	+66 /月
内、当社単体	255	85 /月	281	94 /月	-25	-8 /月
内、Ovako	196	65 /月	-	-	+196	+65 /月
内、MSSS	28	9 /月	-	-	+28	+9 /月

(注1) 連結する両社の決算期間は2019年1月～12月 (注2) 親会社株主に帰属する四半期純利益

(注3) 親会社株主に帰属する四半期純利益からOvakoのれん償却費や段階取得差益を調整した利益

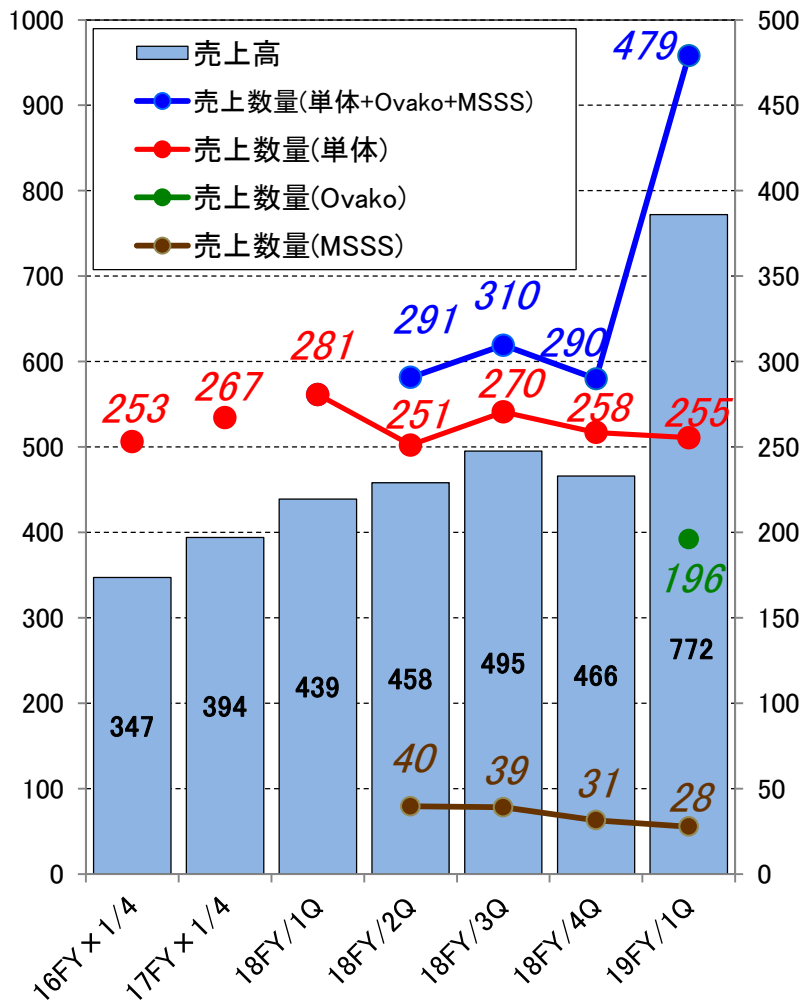
FY2018: 純利益 - MSSS段階取得差益 (=40億円 - 15億円)、FY2019: 純利益 + Ovakoのれん償却費 (=18億円 + 7億円)

純利益(構造ベース)について

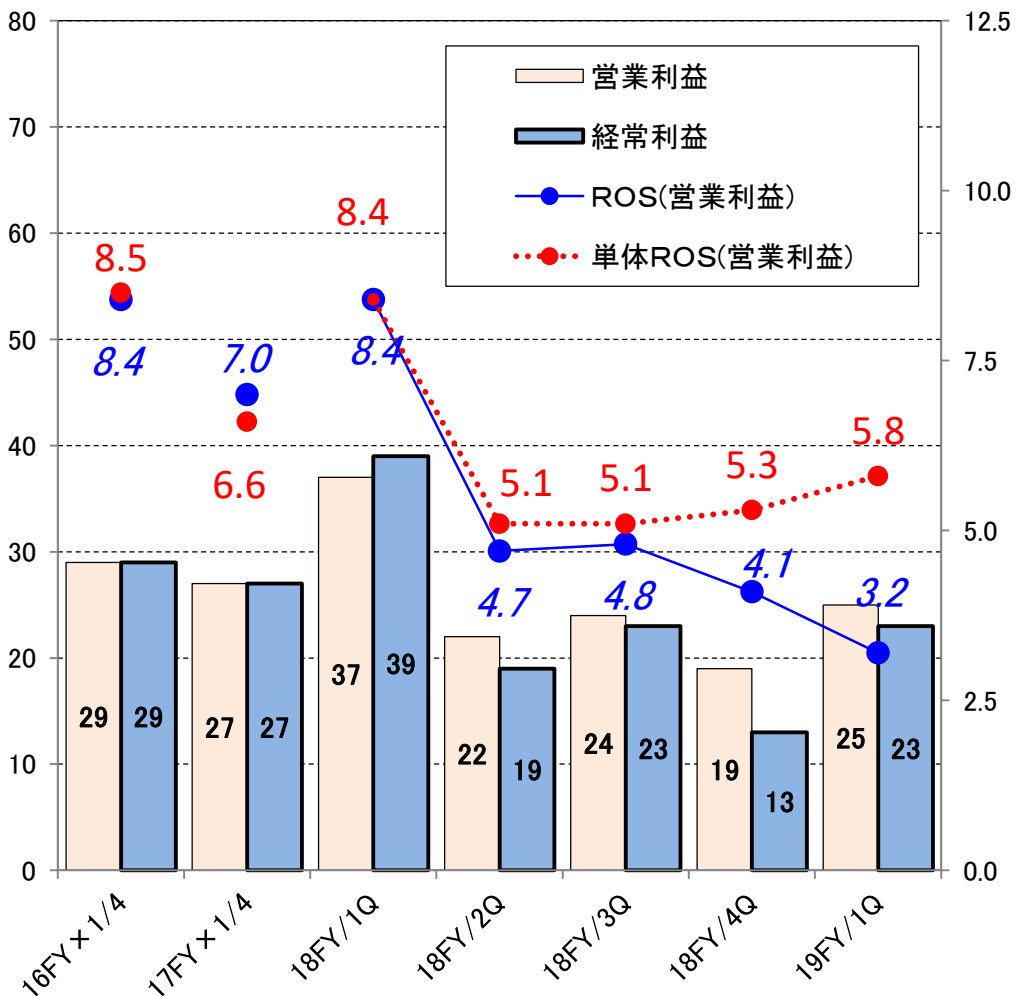


業績推移(四半期)

売上高 (億円) 売上数量 (千t/四半期)



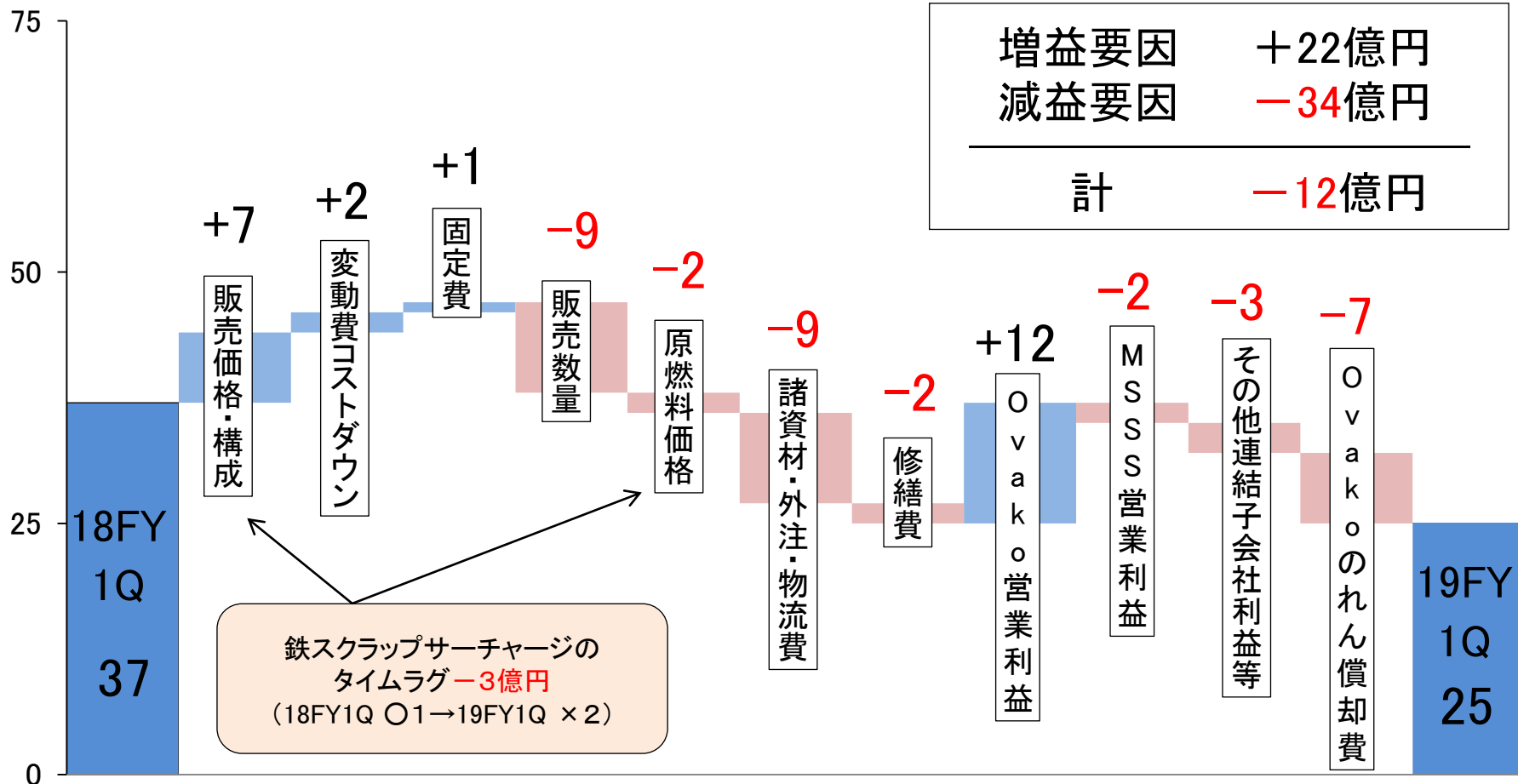
利益 (億円) ROS (%)



営業利益の変化要因

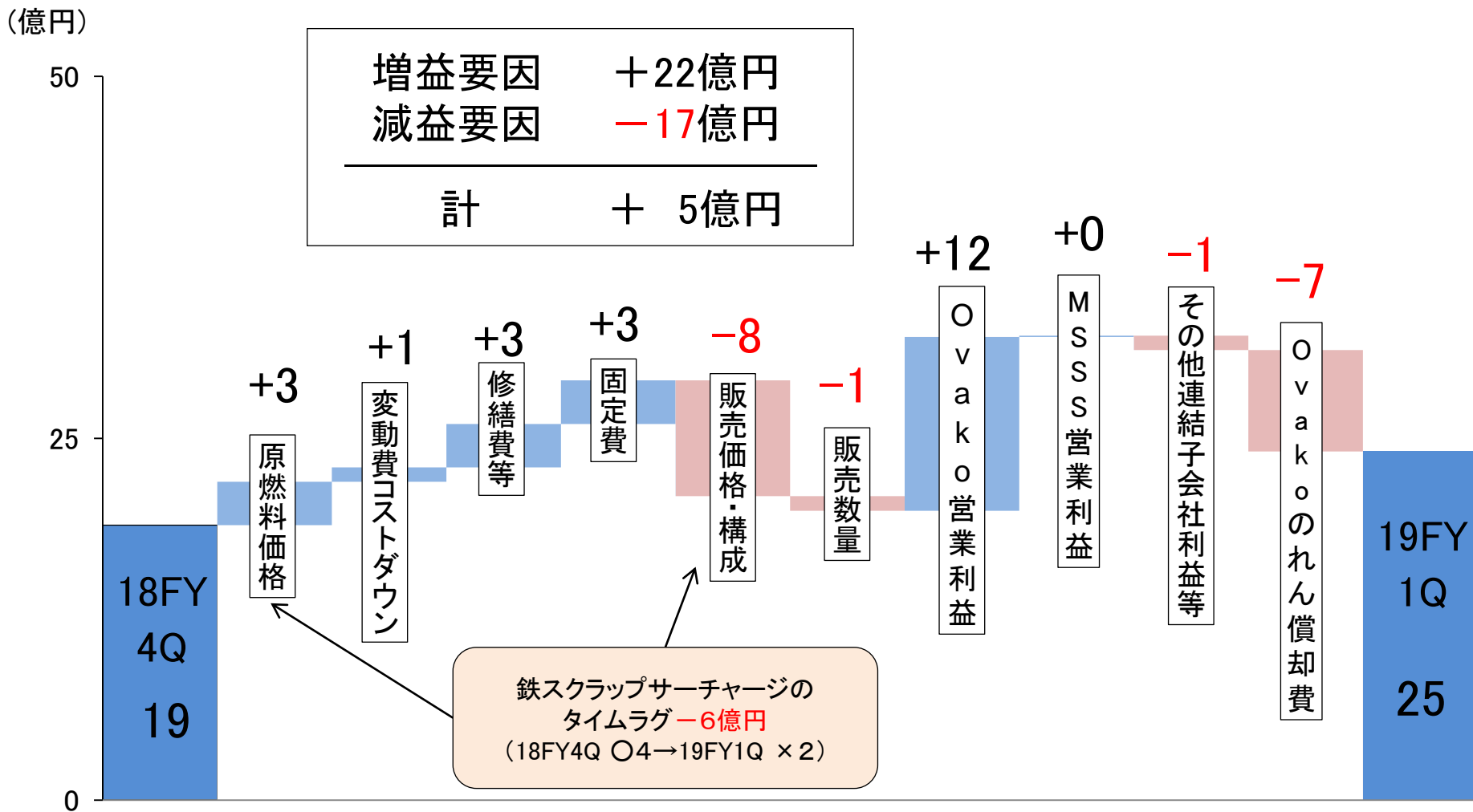
2018FY1Q(37億円) → 2019FY1Q(25億円)(-12億円)

(億円)



営業利益の変化要因

2018FY4Q(19億円) → 2019FY1Q(25億円)(+5億円)

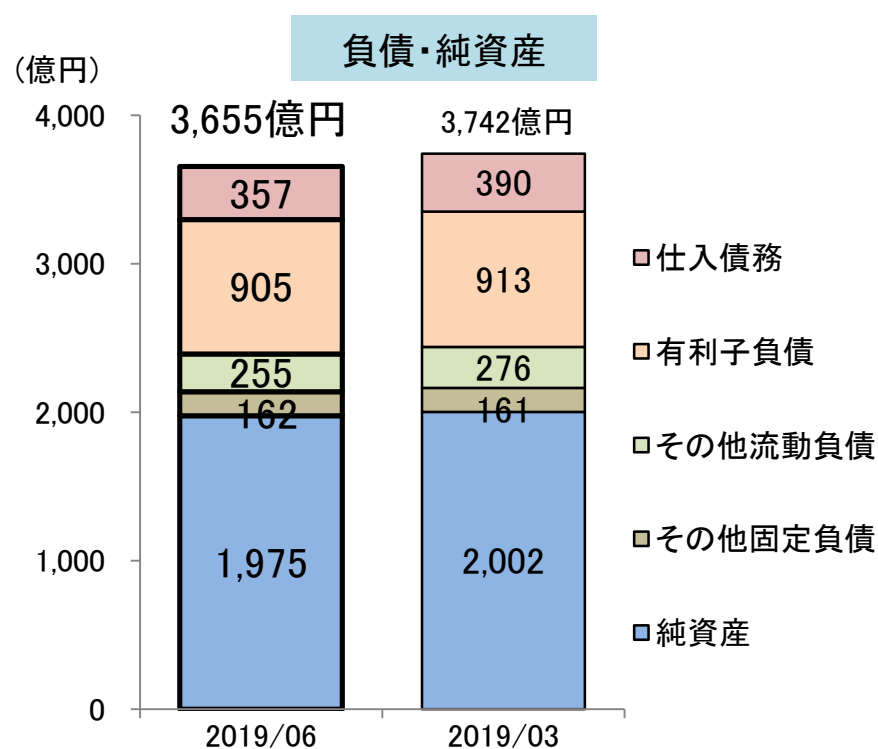
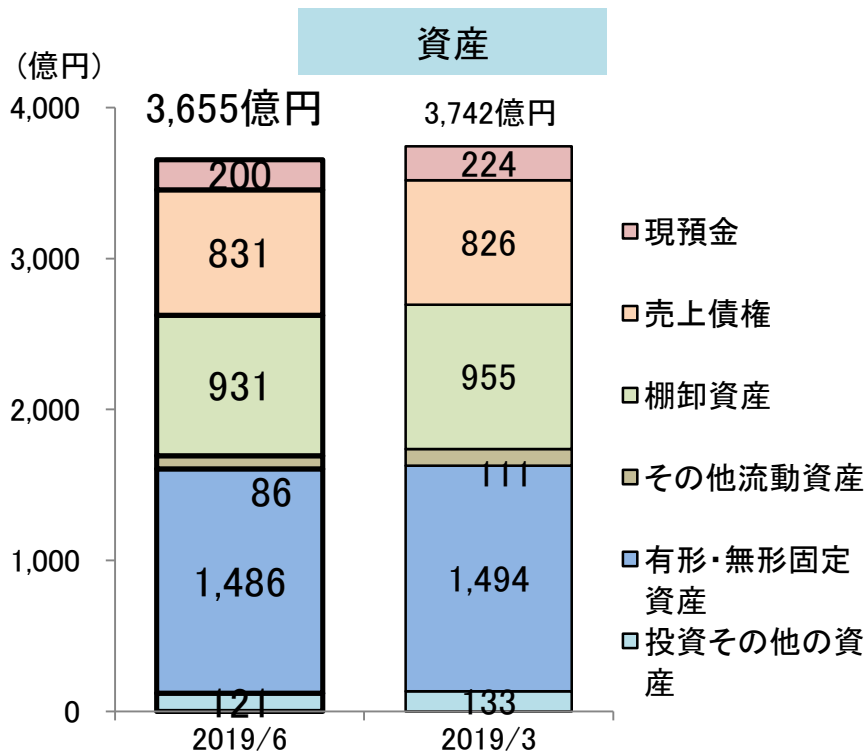


セグメント別損益

(単位:億円)

	2019FY/1Q(A)			2018FY/1Q(B)			対前年同期(A)-(B)		
	売上高	営業利益	売上高 営業利益 率(%)	売上高	営業利益	売上高 営業利益 率(%)	売上高	営業利益	売上高 営業利益 率(%)
鋼材	738	22	2.9	404	32	8.0	+334	-11	-5.1
粉末	11	1	6.3	12	2	16.4	-1	-1	-10.1
素形材	46	2	4.1	47	2	4.6	-1	-0	-0.5
小計	795	24	3.1	463	36	7.9	+332	-12	-4.8
その他	3	0	0.2	3	▲0	-0.3	-0	+0	+0.5
調整額	▲26	0	—	▲27	0	—	+1	-0	—
連結計	772	25	3.2	439	37	8.4	+333	-12	-5.2

貸借対照表



資産の主な増減 -88億円

現預金	- 24億円	単体+17億円、Ovako-37億円
売上債権	+ 6億円	単体-16億円、Ovako+26億円、MSSS -2億円
棚卸資産	- 24億円	単体+4億円、Ovako-26億円、MSSS-4億円

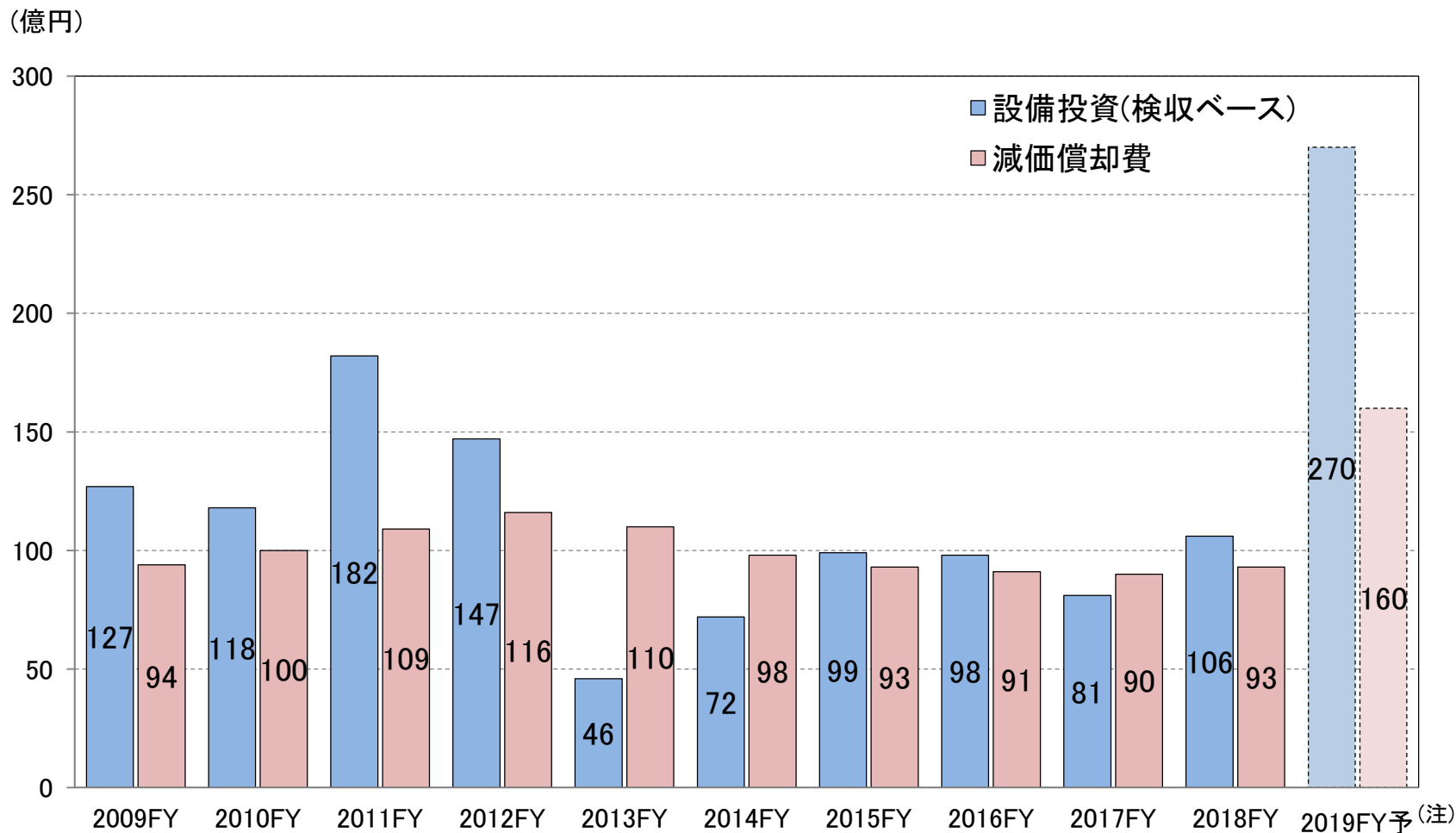
負債・純資産の主な増減 -88億円

仕入債務	- 33億円	単体-14億円、Ovako-8億円、MSSS-6億円
有利子負債	- 9億円	短期借入-147億円、長期借入金 +99億円、CP +20億円、リース債務 +19億円
純資産	- 27億円	その他包括利益累計額-30億円

(参考)主要各社の単体総資産額(連結消去前)

当社 2,731億円 Ovako 990億円 MSSS 186億円

(参考)設備投資・減価償却費の推移



(注)2019FY予の設備投資(検収ベース)270億円の内、当社の第二棒線工場のボトルネック解消投資132億円、Ovako54億円、MSSS12億円。
2019FY予の減価償却費160億円の内、Ovako55億円、MSSS 5億円。

2019FY業績予想の修正について

(単位:億円)

	今回予想(A)			前回予想(B)			増減(A)-(B)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	1,500	1,500	3,000	1,600	1,550	3,150	-100	-50	-150
営業利益	45	65	110	65	45	110	-20	+20	—
内、当社単体	45	56	101	35	37	72	+10	+19	+29
内、Ovako (注1)	17	16	33	42	15	56	-25	+2	-23
内、MSSS (注1)	▲4	5	1	1	5	6	-5	—	-5
内、Ovakoのれん償却費	▲13	▲13	▲26	▲14	▲14	▲27	+1	+1	+1
経常利益	40	60	100	60	40	100	-20	+20	—
当期純利益	30	40	70	46	24	70	-16	+16	—

売上数量(千t)	934	944	1,878	990	960	1,950	-56	-16	-72
内、当社単体	495	513	1,008	516	528	1,044	-21	-15	-36
内、Ovako	387	349	736	405	345	750	-18	+4	-14
内、MSSS	52	82	134	69	87	156	-17	-5	-22

(注1) 連結する両社の決算期間は2019年1月～12月

(注2) 前回予想は、2019年5月8日時点

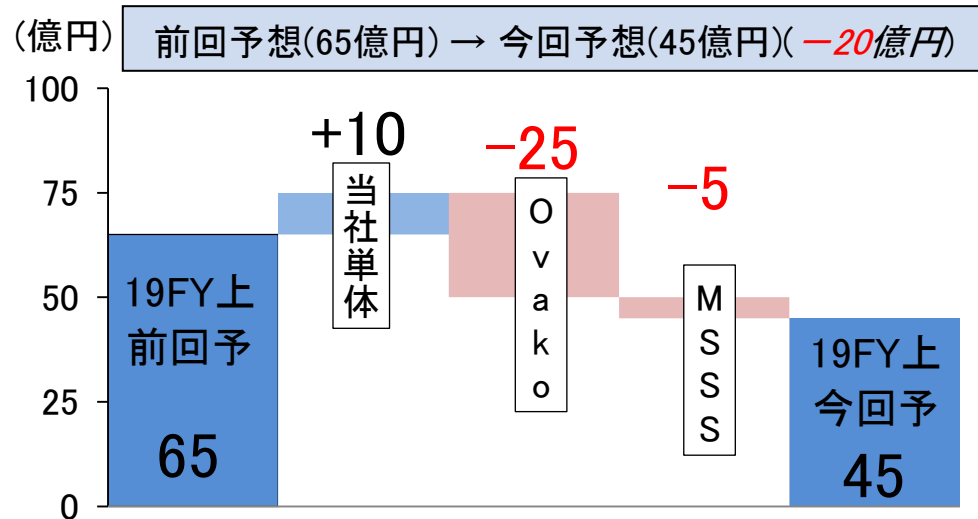
12ページで解説

主要前提(2019年7月以降)

- ・鉄スクラップ 25.5千円/t (姫路地区H2市況)
- ・原油(ドバイ) 65\$/BL
- ・為替 105円/\$、120円/€

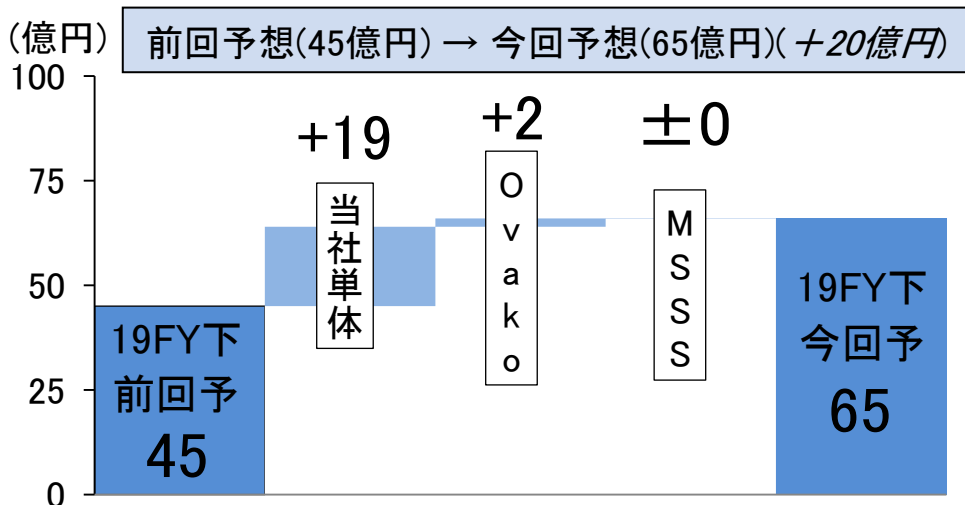
2019FY業績予想の修正について

2019FY上期予想-営業利益の変化内訳



- ・当社単体では、当初予想に比べて販売数量の減少は見込まれるものの、鉄スクラップ価格の下落等による原燃料価格や、諸資材価格の減少等もあり、上期の営業利益は当初予想より増益の見込み。
- ・海外子会社のOvakoやMSSSは、数量減等により、当初予想に比べ大幅な減益となる見込み。

2019FY下期予想-営業利益の変化内訳



- ・当社単体では、販売数量は当初予想に比べて減少を織り込み1Q並みとし、原燃料価格、諸資材価格は当初予想より低い足元の水準が継続する想定。販売量に見合った追加コストダウンを織り込み、下期の営業利益は当初予想より増益の見込み。
- ・海外子会社のOvakoやMSSSは、収益改善策を実行し、下期は当初予想水準を確保。

(詳細は13～14ページ参照)

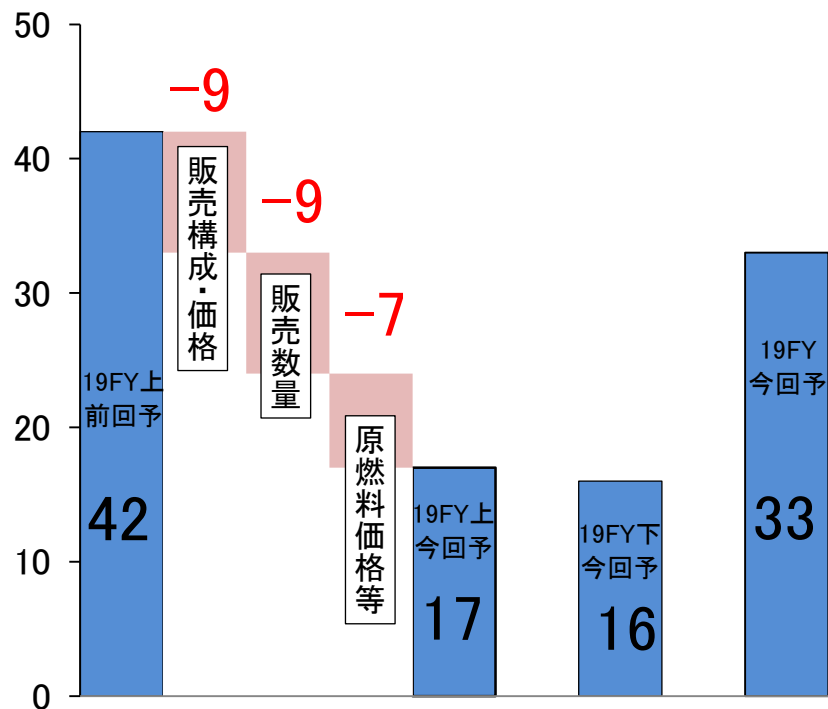
Ovako業績

営業利益の変化要因

2019FY上期前回予想(42億円)

→ 2019FY上期今回予想(17億円)(-25億円)

(億円)



2019年度の概況および見通し

米中貿易摩擦やBrexitの不透明感からEU経済が減速。特に、製造業の景況感悪化が顕著。EU域内の特殊鋼需要は、サプライチェーン在庫調整およびWLTPの駆け込み需要後の反動で2018/10-12月に急落し、改善の兆しが見えず。

<上期の前回予想→今回予想について>

販売構成・価格 : 高収益品の鋼管の販売が減少、汎用品の競争激化

販売数量 : EU域内を中心とした数量減

原燃料価格 : 水不足による安価な水力発電割合の減少

<下期>

7月の夏季定期修繕による販売数量減はあるものの、以下の収益改善策の実施により、上期並みの収益を確保。

(収益改善策)

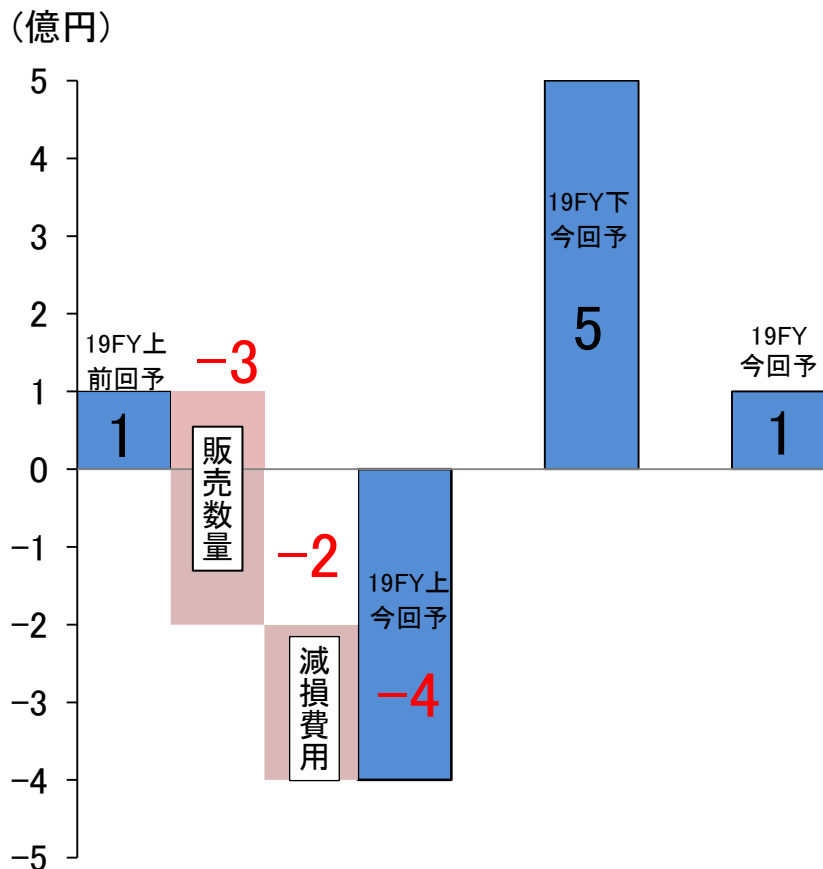
- ・拡販活動の推進
 - ▶ 既存の欧州大手需要家を中心とした軸受向け拡販
 - ▶ 風力発電向けリング等の高付加価値品の拡販
- ・当社技術指導を含めた操業改善等による操業コスト削減
- ・原燃料価格動向を含めた調達コストの削減
- ・シフトダウン(人員削減)による固定費削減

MSSS業績

営業利益の変化要因

2019FY上期前回予想(1億円)

→ 2019FY上期今回予想(-4億円)(-5億円)



2019年度の概況および見通し

インド国内の自動車販売は、2018年11月から8か月連続前年同期比マイナス。5月総選挙前後の政策様子見に加え、自動車保険料上昇やローン厳格化、車両価格上昇等が原因。サプライチェーンの在庫調整により、鋼材需要は実需の減退以上に減少。

<上期の前回予想→今回予想について>

販売数量: 在庫調整による需要減少

減損費用: 安価電力供給会社の経営行き詰まりによる電力使用権の減損

<下期>

インド国内の自動車販売は依然先行きは不透明だが、以下の収益改善策により、当初予想並みの収益を確保。

(収益改善策)

- ・まとめ生産によるエネルギー原単位改善や中国製電極の使用による操業コスト・調達コストの削減
- ・営業支店網の充実等を通じた高収益品の受注量拡大
- ・鉄道向け受注の確保
- ・要員適正化による外注費削減

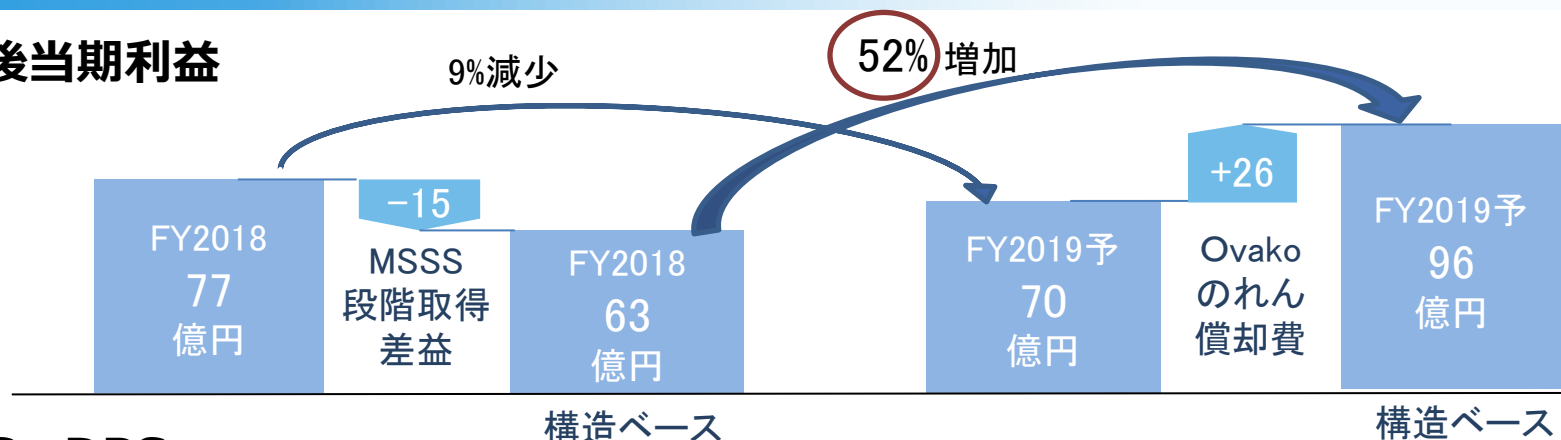
2019FY配当予想の修正について

			今回予想(A)			前回予想(B)			増減(A)-(B)			(参考) 2018FY 実績
			上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
1株当たり 純利益	A	円/株	53.6		126.5	81.8		124.5	-28.3		+2.0	237.8
Ovakoのれん償却前 1株当たり 純利益	B	円/株	76.8		173.4	105.8		172.5	-29.1		+0.9	
1株当たり 配当金	C	円/株	23.0	29.0	52.0 (注)	31.7	20.0	51.7	-8.7	+9.0	+0.3	69.0 (中間45.0、 期末24.0)
配当性向	C/A	%	43.0		41.1	38.7		41.5	+4.3		-0.4	29.0
	C/B	%	30.0		30.0	30.0		30.0	-		-	

(注) 今回予想の1株あたり配当金は、自己株式取得の影響により増加(Ovakoのれん償却前EPS×30%は維持)

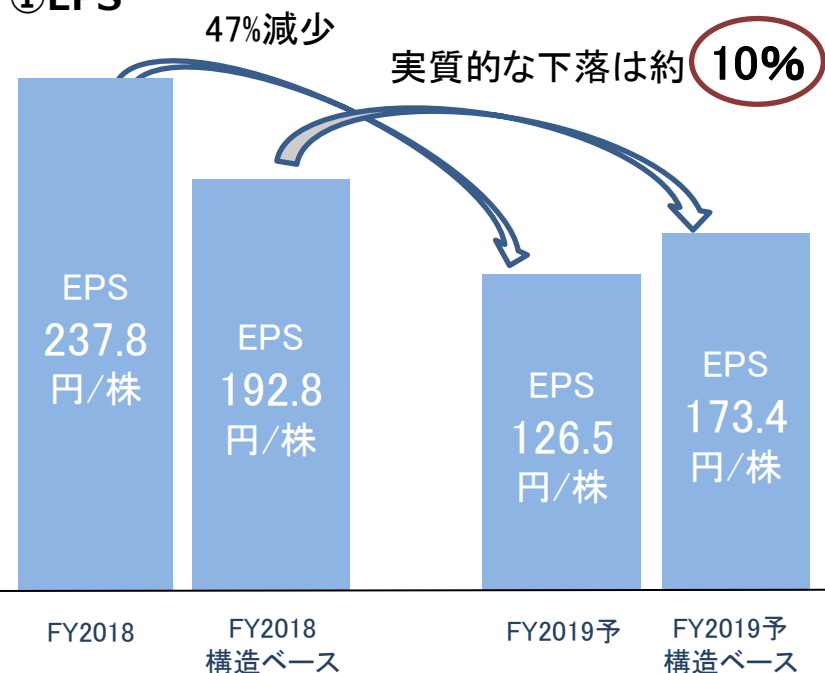
EPS・DPS

税後当期利益

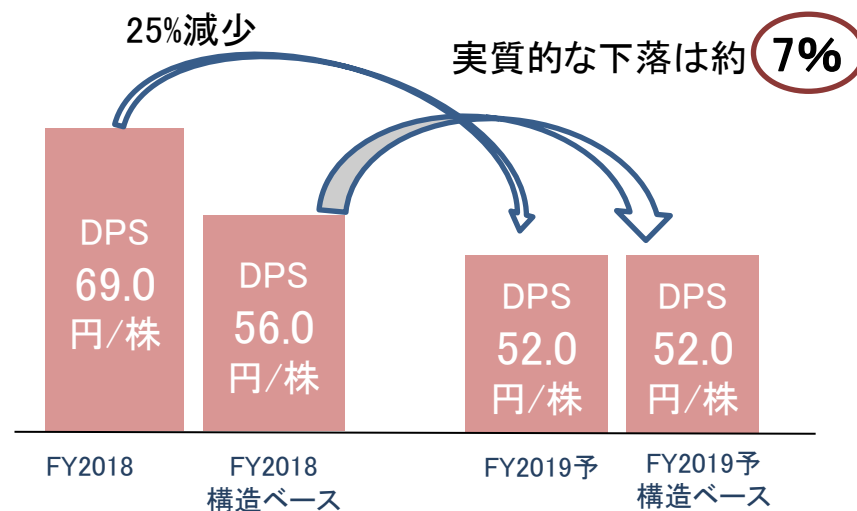


EPS・DPS

①EPS

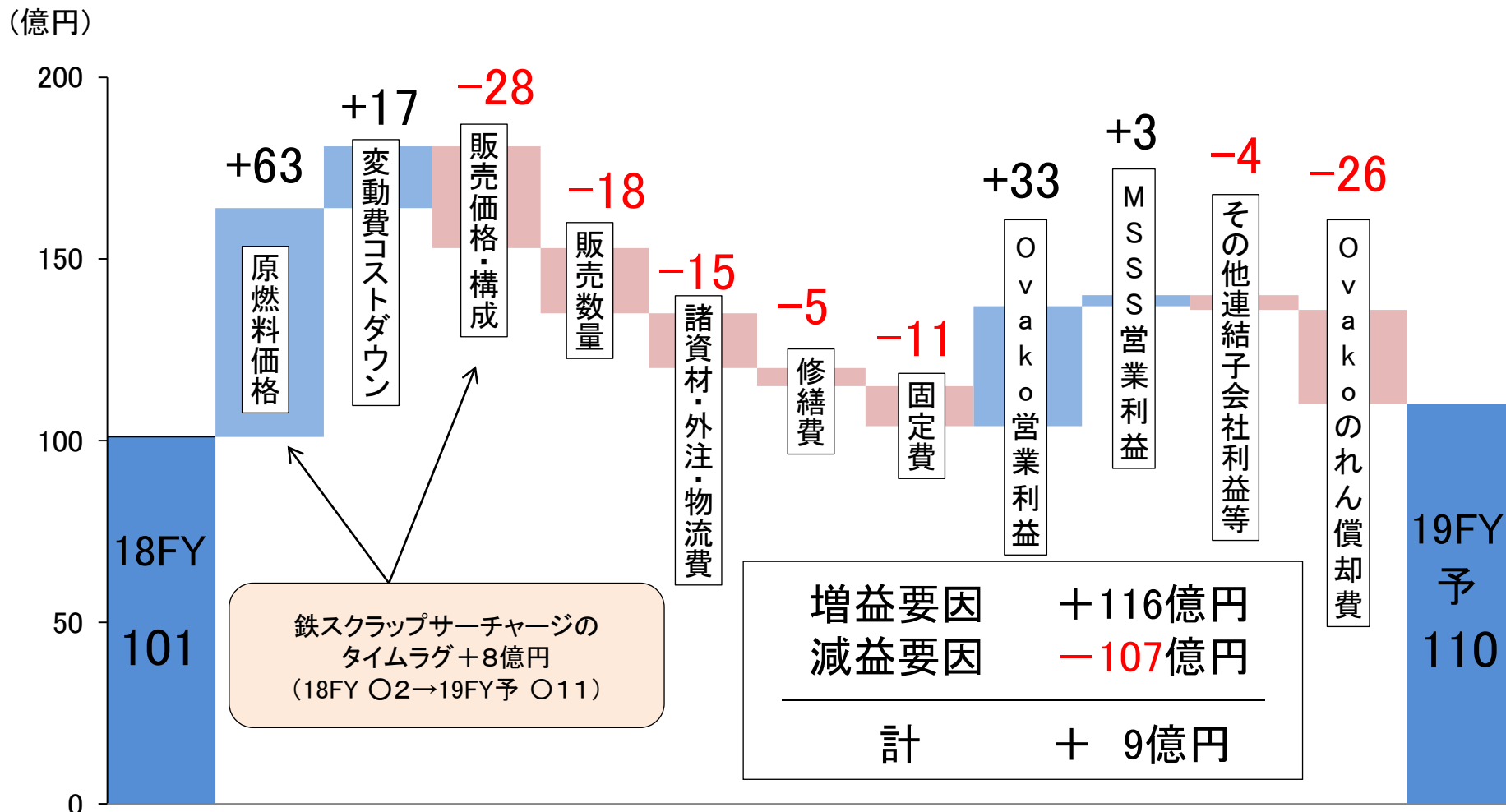


②DPS



営業利益の変化要因

2018FY実績(101億円) → 2019FY今回予想(110億円)(+9億円)



財務指標の推移

		2014FY	2015FY	2016FY	2017FY	2018FY	2019FY 1Q
ROE(自己資本当期純利益率)(注1)	%	6.1	6.6	6.6	5.6	4.8	3.6
ROS(売上高営業利益率)	%	5.3	8.2	8.4	7.0	5.4	3.2
ROA(総資産経常利益率)(注1)	%	4.8	6.0	6.5	5.4	3.2	2.5
自己資本比率	%	55.8	62.4	66.7	61.0	52.3	52.8
有利子負債(ネット)	億円	332	143	127	284	690	705
D/Eレシオ(ネット)	倍	0.29	0.13	0.10	0.22	0.34	0.36
1株当たり当期純利益(注2)	円/株	203.0	230.0	241.5	218.3	237.8	31.8
1株当たり純資産(注2)	円/株	3,498	3,483	3,797	3,961	3,481	3,436
期末従業員数(注3)	人	2,706	2,625	2,598	2,666	6,835	6,880

(注1) 2019FY1Qについては、利益を年換算している。

(注2) 2017年10月1日に株式併合(5株を1株)を実施。当該株式併合を踏まえて換算。

(注3) 2019FY1Qの従業員数の内、Ovakoは約3,000人、MSSSは約1,000人。

その他のトピックス

(1)自己株式取得および自己株式消却について

2019年6月19日開催の当社取締役会で自己株式取得および消却に関して以下の通り決議

①自己株式取得

(1)取得対象株式の種類	当社普通株式
(2)取得し得る株式の総数	1,730,000株(上限) (発行済株式総数の3.1%)
(3)株式の取得価額の総額	30億円(上限)
(4)取得期間	2019年6月20日から2019年12月23日
(5)取得の方法	自己株式取得信託による市場買付け

(参考)2019/06末時点での自己株式取得累計 34,000株(進捗率:2.0%)

②自己株式消却

当社普通株式 2,930,000株(消却前発行済株式総数の5.1%)を2020年1月31日に消却予定

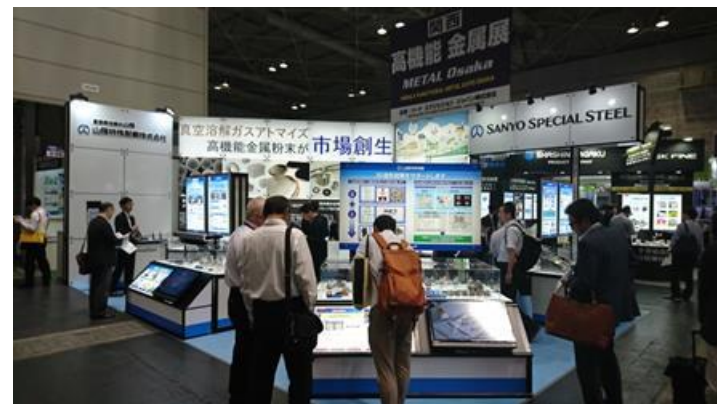
(参考)総還元性向について

	FY2018実績	FY2019予想	
配当金	28億円	29億円	
自己株式取得	0億円	30億円	
株主総還元	28億円	59億円	
当期純利益	77億円	(Ovakoのれん償却後) 70億円	(Ovakoのれん償却前) 96億円
総還元性向	36.2%	83.6%	60.9%

その他のトピックス

(2)第6回関西高機能金属展へ出展

- ・2019年5月にインテックス大阪で開催された展示会に出展。
- ・高機能ガスアトマイズ粉末、粉末成形品、3Dプリンター造形物等を展示。
- ・当社ブースには、多数の方が来場。



(3)文化振興財団主催 文化講演会を開催

- ・2019年5月、姫路市文化センターにて開催。
- ・講師は、東京大学薬学部教授で脳を研究テーマとする池谷裕二氏。
- ・最新の脳科学の知見から人工知能(AI)と人間の違いについてユーモアを交えながら解説頂いた。





特殊鋼で、つぎの未来へ。

www.sanyo-steel.co.jp

(ご注意)

本資料の業績予想等は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。いかなる確約や保証を行うものではありません。



「さんとくん」
(当社キャラクター)

